

日本地球電気磁気学会会報 (第29号)

1967年 8月 日

日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区弥生2丁目11の6
東京大学理学部地球物理学教室内
電話 03-812-2111 内線6476
振替 東京 4860

第42回総会並びに講演会のお知らせ

前総会の際に次期総会並びに講演会は大阪市立大学工学部のお世話で開く事が決っておりましたが、その予定が下記の様になりましたのでお知らせします。

会 場 大阪市立大学工学部(大阪市住吉区杉本町)

大会委員長 竹尾芳夫会員

期 日 10月29日(日) — 11月1日(水)

(1) 講演の申込及び講演予稿集原稿について

今回の学会から講演予稿集を従来のタイプ印刷から皆様の出された原稿を複写して印刷する方式に変更致します。従来の予稿集では印刷の際に誤りを生じやすく、又よみにくい事もあり、予稿を提出されずに講演をされる方もありました。そこで講演予稿集を活用して講演会をより有意義にするため、8月7日の運営委員会で次の様な方法をとる事に決定致しましたので十分御注意下さい。今回の学会より予稿集原稿が期日迄に到着しない場合には講演を取消したものととしてプログラムより削除致します。

講演申込締切期日 10月1日

予稿原稿締切期日 10月8日

申込郵送宛先 大阪市住吉区杉本町

大阪市立大学 工学部

竹尾芳夫会員

予稿兼原稿の作成にあたって次の点を御注意下さい。

- (イ) 原稿は黒インク、墨、又は黒ボールペンを使用して書く。
- (ロ) 原稿(A4版)はB5版(約 $\frac{2}{3}$)に縮刷されますので特に図表の字の大きさに注意する。
- (ハ) 写真は複写出来ない。
- (ニ) 複数の講演を申込まれる場合には同形の出来るだけ上質紙を使用する。或いは学会事務所に申出て下されば送付いたします。

(2) スライド、ビラの作成について

講演会で使用されるスライド、ビラの文字の大きさについて次の制限をお守り下さい。

- (イ) スライドの原稿をA4版の大きさに書く場合、字の大きさは8ミリ以上(添字は4ミリ以上)。
- (ロ) ビラの字の大きさは6センチ以上(添字は3センチ以上)

(3) 宿舍の申込みについて

大阪スポーツマンホテル 大阪市東住吉区大塚町53 Tel.大阪(718)2431

宿泊料 : 1泊2食付 ¥1,500 (税、サービス料等一切込)

交通 : 阪和線美章園駅下車、会場へは電車10分徒歩5分

申込 : 別紙申込書を利用して10月8日までに直接ホテルへ申込んで下さい。

予約金 ; 日数に関係なく1人¥1,000を納入して下さい。

(4) 学会20周年記念特別講演について

今年は学会創設20周年にあたりますので、これを記念して学会第3日目午后にこれを記念して学会の20周年の歴史をふりかえり、将来の発展の方向等について全般的に1名、研究分野別に3名の会員の方々に特別講演をして頂く予定です。

(5) 田中館賞候補論文推薦、総会議題提案について

田中館賞候補論文推薦及び総会議題提案をなさる方は10月1日迄に

関戸彌太郎委員長(名古屋市千種区不老町 名古屋大学理学部物理教室)宛にお願いします。

尚田中館賞候補論文を推薦されます方は、申出が受理されますと当該論文推薦理由書及び当該論文別刷各12部を提出するよう依頼されますから、このことを予じめ御考慮の上御準備をお願いします。

J.G.G. 別刷代金の改訂について

最近印刷費の値上り等に件い J.G.G. 発行費が大巾に増加し学会の会計に大きな負担をかけつあります。そこでこれを補うため、J.G.G. 投稿論文の別刷代金を Vol. 20, NO. 1 (1968) から次の如く改めます。

- (1) 論文を投稿される場合には最低 100 部宛の別刷を購入する事を義務づけます。
- (2) 別刷の注文部数は 100 部以上 50 部単位とし 50 部以下の端数は切上げて計算します。
- (3) 別刷の代金は刷上り 1 頁当り下記の価格とします。
(但しこの価格は予告なく変更される事があります)

部数	投稿者	会 員	非 会 員
100		¥ 1,200	¥ 2,000
150		1,700	3,000
200		2,200	4,000
250		2,700	5,000
300		3,200	6,000
以后 50 部毎に		400	1,000

日本地球電気磁気学会会報 第29号補遺

宇宙航空研究所シンポジウムについてのお知らせ

東京大学宇宙航空研究所より下記の四つのシンポジウムの開催について通知がありましたのでお知らせいたします。出席者には旅費、滞在費が支給される可能性もあります（少くとも講演者について）詳細は係の所員に直接お問合せ下さい。（電話 東京 467-1111）

シンポジウム名	期 日	世 話 人
磁気圏のプラズマ波動	42年11月頃	西田篤弘
静穏時の電離層におけるエネルギー収支	42年11月下旬	高柳和夫
ロケット観測の成果と将来計画	42年11月～43年1月頃	伊藤富造・西田篤弘
磁気圏の構造	43年3月頃	玉尾 孜

第11回宇宙科学技術講演会についてのお知らせ

共催 強化プラスチック技術協会、軽金属協会、電気通信学会
日本化学会、日本機械学会、日本航空学会
日本地球電気磁気学会

期日 昭和43年1月26, 27日（金, 土）

会場 東京

講演内容 宇宙工学 宇宙科学

講演募集要領

講演申込締切* 42年10月21日（土）

原稿締切** 42年12月5日（火）

* 講演御希望の方は別紙の申込用紙に御記入の上学会事務所へお申込み下さい。

** 講演者にはお申込み后、所定の原稿用紙をお送りします。

東京大学宇宙航空研究所助手公募について

下記について応募および適任者の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。

1. 所属部門および公募予定人員数：

上層大気物理学部門（教授 平尾邦雄） 助手 1名
（助教授 伊藤富造）

2. 研究内容：

現在行なわれている研究は例えば、電離層、外気圏のプラズマのロケットによる観測および、実験室におけるシミュレーションの実験を行なっています。

3. 応募資格：

大学院修士課程修了またはそれと同等以上の学力および研究歴を有するものに限ります。なお、昭和43年3月までに上記の資格を取得する予定者も含みます。

4. 提出書類：

- (1) 応募の場合：履歴書、研究歴（主要論文目録）、研究計画。
本人について意見を述べ得る人2人以上（住所・氏名）
- (2) 推薦の場合：履歴書、研究歴（主要論文目録）、推薦状。

5. 公募締切：昭和42年10月15日

6. あて先：東京都目黒区駒場町856 東京大学宇宙航空研究所事務長

TEL (467) 1111 (代表)

7. 決定方法：

東京大学宇宙航空研究所設立準備委員会専門委員会で選考し、宇宙航空研究所幹事会で審査決定します。